

令和8年7月1日

各教育事務所長
各市町村教育委員会教育長
各小・中・高等学校長 殿
各義務教育学校長
各特別支援学校長

鹿児島県小中高等学校
理科教育研究協議会

第72回 鹿児島県昆虫・貝・植物・岩石展開催要項

1 趣旨

四季折々の豊かな自然に親しみながら、子どもたちが観察、採集した昆虫・貝・植物・岩石の標本を展示して、児童・生徒および県民に、郷土鹿児島の「豊かな自然」についての理解と興味関心を深めさせるとともに、自然を大切にしようとする心情を育てる。

2 主催 鹿児島県小中高等学校理科教育研究協議会

3 後援

鹿児島県教育委員会
鹿児島県市町村教育委員会連絡協議会
鹿児島市教育委員会
南日本新聞社
公益財団法人かごしま環境未来財団
鹿児島昆虫同好会
鹿児島植物同好会
鹿児島県地学会

4 期間 令和8年9月12日(土)～9月20日(日)

(※会場の混雑を避けるために、「展示会」は特別賞のみ、「表彰式」は特別賞・特選のみ実施する。)

5 会場 かごしま環境未来館 (鹿児島市城西二丁目1-5)

6 出品対象 小学校・中学校・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校の児童・生徒の作品とする。

7 作品の搬入

(1) 搬入及び引き渡しは、基本的に保護者(個人)単位にて行うこととする。

(2) 搬入場所：かごしま環境未来館

(3) 搬入日時：9月12日(土) 午前10時～12時 9月13日(日) 午前10時～12時

(期日厳守) 作品の保管・管理の都合上、期日時間を過ぎた作品の搬入はできませんので、ご注意ください。

保護者の方で、出品票を作成し、作品に付けてから搬入する。(出品例については13(1)参照)
やむをえず搬入日時に搬入できない場合、9月12日(土) 午前中までの時間指定で、かごしま環境未来館宛てに宅配便で送るものとする。その際、確実な引き渡しができるように、箱ごとに名前が分かるようにする。

※ 台風接近など、搬入日に作品の搬入ができないときの対応については、下記のホームページに詳細を掲載します。
(<https://kenrika.site.kagoshima.jp/>)

8 作品の引渡し

(1) 作品は9月20日(日)の午前10時～12時の間にかごしま環境未来館にて引き渡しを行う。

やむをえず取りに来られない作品は、着払いでの郵送とする。(作品受付のとき確認を行う。)

(2) 宅配便での郵送については十分注意しておりますが、万一作品に破損等ある場合はご了承ください。

9 出品について

- (1) 出品は、個人出品および団体出品（個人名は出さない）とする。各箱の台紙等に市町村・学校名・学年を書き、個人出品か団体出品かをはっきり示すこと。
- (2) 出品は県内で採集したものに限る。購入したものや交換したものは除き、初出品のものであること。
※ 小学生の作品については、保護者の協力が入っている場合も審査の対象とするが、発達段階に応じた程度とする。また、保護者や教師の指導があってもよいが、指導が行き過ぎた作品は審査対象外とすることもある。ラベルや記録帳など、可能な限り本人に書かせるのが望ましい。
また、小学校低学年児童の作品は、以下の規格や標本作成上の注意にとらわれないものであってもよい。

(3) 出品の規格（規格に合っていない場合は、審査の対象になりません。）

○ 昆虫・貝

ア 出品数は、小・中学生については4箱以内、高校生については6箱以内とする。

イ 標本箱の大きさは、縦30～42cm、横40～51cmとする。（外枠）

ウ 標本配列については、原則として箱を横長に使用する。

○ 植物

ア 出品数は、小学生については、30枚以上50枚以内、中・高校生については80枚以上100枚以内とする。ただし、コケ・地衣・海藻の出品は審査対象外とする。

イ 台紙の大きさは、**B4または八つ切りとする。**

ウ 台紙はとじないで、**箱に入れて出品する。**（箱の大きさ、種類は問いません）

エ 一枚の台紙に一種ずつはること。

○ 岩石（鉱物含む）

ア 出品数は、小学校「全体の色や粒の色の違う岩石、鉱物20点以上40点以内」、中学生・高校生については「20種以上40点以内」（但し、同種のは産地の異なるもの）。

イ 標本箱の大きさは、**縦35cm以内、横48cm以内とする。（外枠）**

ウ 標本の配列については、原則として箱を横長に使用し、箱に区切りをして1点ずつ入れる。

エ 1箱に20点程度入れる。

オ 標本箱のふたは必要ない。（ふたをするとき、アクリル板のみ）

10 審査の観点及び審査日

次のような観点で審査する。

- (1) 採集物は標本としてふさわしいか。
- (2) 標本の仕上がりはどうか。
- (3) 採集地と採集年月日等の記録が正確か。
- (4) 標本名は正しいか。
- (5) 標本の配列等は工夫されているか。
- (6) 12(4)の標本作成上の注意を参考にしているか。
- (7) その他（出品目録付が望ましい〔7(3)ホームページでダウンロードもできます〕）

※ 審査日 9月17日（木）

審査結果は、南日本新聞朝刊に掲載予定。〔7(3)※ホームページにも掲載予定〕

※ 展示は、特別賞のみとします。

9月19日（土） 午前10時～午後4時

9月20日（日） 午前10時～12時

11 表彰

(1) 特別賞・特選・入選（団体出品であっても、1作品につき1表彰とします。）

(2) 特別賞は次のとおりとする。

- ・ 知事賞 ・ 県教育委員会賞 ・ 鹿児島市長賞 ・ 鹿児島市議会議長賞
- ・ 南日本新聞社賞 ・ 가고しま環境未来館賞

(3) 表彰式 **9月20日（日）午前11時 가고しま環境未来館**（午前10時45分までにお集まりください）

特別賞・特選のみ行う。特別賞・特選以外の賞状等については、作品と一緒に返却します。

12 採集ならびに標本の作成について

- 1) 分類、分布または生態研究などのテーマをもった採集物であることが望ましい。
- 2) 年々減少しつつある生物の乱獲を防止し、保護する意味で必要な数だけ採取すること。
- 3) 学年の発達に応じて作成することが望ましい。
- 4) 標本作成上の注意
 - 植物標本について
 - ・ 標本はできるだけ花や実、草本類については根もつけた方が望ましい。
 - ・ 標本台紙にはりつけるときは、糸で標本台紙に固定するか標本バンドなどを細かく切ってはりつけること（ビニールテープやセロハンテープは望ましくない。）
 - ・ 標本は、乾燥したものであること。
 - 昆虫標本について
 - ・ チョウ・トンボ・カブトムシなどにかたよらず、その他各種の昆虫にわたった標本が望ましい。
 - ・ 標本が動かないように底面のコルク板か、発砲スチロールなどにピンでしっかり固定すること。
 - 貝標本について
 - ・ よく洗ってよごれをおとすこと。
 - ・ ニスをぬらないこと。
 - ・ 巻貝は、ふたのあるものはふたをつけること。
 - ・ 二枚貝は、二枚そろえること。
 - ・ 箱を丈夫に補強すること。（葉子箱などは、ダンボールなどで補強すること。）
 - 岩石（鉱物を含む）標本について
 - ・ かたい岩石は、割って一面だけでも新鮮な面を出しておくこと。
 - ・ 風化した岩石や、やわらかいものはビニール袋に入れておくこと。
 - ・ 標本1点の大きさは、ほぼにぎりこぶし大にとどめること。
- 5) 国立公園や自然保護区内では、動植物、岩石等は採集できません。

13 作品の出品例

下記のような形で作品を搬入してください。また昨年度の昆虫・貝・植物・岩石展で審査していただいた先生方からのご意見も載せております（15連絡先 ホームページ参照）ので、作品を作る際に前述の9③出品の規格、12④標本の作成上の注意等と共に参考にしてください。

※ 作品の搬入前に必ず確認をしてください。例年、出品票がないまま搬入されるものがあります。必ず出品票をつけて搬入してください。（各自で出品票の作成をお願いします）

1) 出品例

出品票（例）

（〇〇立〇〇小）学校
（貝）の部

学年	名前（ふりがな）	（性別）
5年	植 物 太 郎	男・女
（共同作品の場合は二人とも名前を書く）		
住所（郵便番号も書く）		
電話番号（市外局番から書く）		
① 箱の数（ ）		
② 目録の有無（どちらかに○を付ける）		
有 無		
③ 作品受け取り方法（郵送の場合は必ず明記）		
1 本人が取りに来る		
2 着払いにて郵送		



どの部門についても出品票を必ずつけてください。
植物採集については、出品票を箱の上部に貼り付けてください。



昆虫・貝・岩石など箱が複数個になる場合には、すべての箱に市町村、学校名、学年、名前を書いた台紙等を貼ってください。
出品票は、図のようにテープなどでどれか一つの箱につけてください。

② 参考

○ 昆虫

- ・ 同じ種類をたくさん採集せず、乱獲防止の立場から種類1～2程度が好ましいです。
- ・ 箱の規格を守ってください。
- ・ 同じ種類に偏らず、多くの種類を集めるとさらにいい作品となります。また年間を通して採集するのもよいです。

○ 植物

- ・ 年間を通してつくっている作品もあり、四季を感じることができ、素晴らしいです。
- ・ シダ以外の植物は、花と実がついているととってもいい標本となります。
- ・ 乾燥が十分でない作品があります。よく乾燥させると色がきれいに出来ます。
- ・ 標本テープの貼り方やラベルの貼り方等をしっかり守るとよいです。



各作品とも出品目録（採集したものの採集日、採集場所、名前等を書いた一覧表）がついていると好ましいです。

○ 貝

- ・ 標本の並べ方が、巻き貝、二枚貝ともにきまりがあります。図かんなどで調べるとよいです。
- ・ 標本箱内での枠の大きさと標本の大きさのバランスを考えてつくるともっとよい作品となります。

○ 岩石

- ・ 県内各地から採集できるとさらにいい作品となります。
- ・ 採集だけでなく、スケッチ等観察記録をつけるとさらにいい作品になります。
- ・ 岩などから新鮮な岩石を取り出すとさらにいい作品になります。

※ 昨年度の講評については、ホームページに掲載しています。

14 名前を調べる会

昆虫・貝・植物・岩石の名前を調べる会を次のとおり実施します。

日時・会場	指導内容	対象	主催・共催
8月22日(土) 午前10時30分～午後4時30分 かごしま環境未来館	昆虫・貝・植物・岩石の調べても名前のわからないものや標本作成等について、専門の先生が、指導助言を行う。	県内の小・中・高校の児童生徒	鹿児島県小中高等学校理科教育研究協議会 鹿児島県立博物館

※ 例年、子どもたちが自分で調べてこないで、講師の先生に聞くだけの人があるので、まずは自分で調べてみましょう。また、自分で名前を調べた標本も持ち寄りましょう。

※ 会場の混雑を避けるために、予約制とします。

詳細については、ホームページにて確認してください。

15 日程等の急な変更のお知らせについて（連絡先）

台風接近などで、搬入日に作品の搬入ができないときの対応については、下記のホームページに詳細を掲載します。

<https://kenriksite.kagoshima.jp/>

「かごしま環境未来館」への問い合わせはしないようにお願いします。